

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】広葉樹加工流通施設等整備支援事業費補助金(R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 加工流通係 電話番号：058-272-1111(内4364)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内の森林資源のうち約 4 割が広葉樹であり、飛騨地域に多く分布しているが、木製家具製造材のほとんどが輸入材であり、県産材は使用量はわずかである。輸入材の価格上昇などをきっかけに、環境保全や持続可能な資源利用の観点から国産材へシフトする動きがあり、飛騨地域の一部の地域では、広葉樹を活用し持続的な森林管理に向けた取り組みが進みつつある。

県産材広葉樹を各製造業などで利用促進するためには、品質を確保した材を安定供給する必要がある。併せて、広葉樹加工に対応できる人材の確保と技術力の向上、加工施設の整備が必要である。

(2) 事業内容

広葉樹資源の活用と付加価値を付けた利用促進するため、家具や木製品の木材を安定供給するための広葉樹加工施設等整備を支援する。

- ・事業内容：広葉樹の仕分け土場や製材加工施設等整備の支援
- ・補助対象予定者：広葉樹を取扱う流通事業者・製材加工事業者
- ・事業費：3,000千円(1,500千円×2施設相当)
- ・補助率：1／2 以内

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1 / 2 以内

(新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第 2 世代交付金))

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,000	広葉樹の仕分け土場や製材加工施設等整備 1,500千円×2施設相当
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第 4 期森林づくり基本計画 (R4~R8年度)

「1 森林づくりの推進 (2) 100 年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり」

(2) 国・他県の状況

国庫補助事業の非対象事業

(3) 後年度の財政負担

第 4 期森林づくり基本計画の課題解決に向けて、第 5 期森林づくり基本計画で取り組む計画であるため継続的な実施が必要

(4) 事業主体及びその妥当性

広葉樹を取扱う木材流通業者、製材加工業者

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	広葉樹利用拡大施設等整備支援事業
補助事業者（団体）	林業事業体、木材製品加工業者 （理由）
補助事業の概要	（目的） 広葉樹資源の活用と高付加価値の利用促進 （内容） 広葉樹の仕分け土場等整備の支援。広葉樹の製材加工施設等整備の支援。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） 補助率 1 / 2 以内 （理由） 広葉樹の活用と高付加価値化を図るには、製材品の流通量の増加が必要であるが、広葉樹関係の事業者は小規模であることから設備投資が困難であり、経費の一部を助成することで、広葉樹製材品の流通量の増加を図る。
補助効果	
終期の設定	終期 令和 9 年度 （理由） 第 2 世代交付金の計画終了年度が令和 9 年度であることから、令和 9 年度に事業の見直しを行う。

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 木材生産量 3 4 千 m ³ の増

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
木材生産量	599	682	633	650	667	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)</p> <p>2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)</p> <p>1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%)</p> <p>0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方角性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
